

JSPS Science Dialogue

日本学術振興会のサイエンスダイアログに参加しています。

本校の英語理数科における授業で行いました。

英語理数科・理科

サイエンスダイアログは科学的理解の促進と異文化理解を促進して、生徒の学習意欲を向上させ、生徒の視野を広げます。

日本学術振興会（JSPS）は日本の学問の諸分野の研究を支えています。

このプログラムに関するウェブページ

<https://www.jsps.go.jp/j-sdialogue/index.html>

新潟大学大学院医歯学総合研究科

Alexander S. Savchenko 博士（ロシア）

演題「Russia, ATHEROSCLEROSIS and et cetera（ロシアの文化と動脈硬化に関するエトセトラ）」

お話を内容の要旨



新潟大学の医学部の博士研究員として来日された アレクサンダーさんによる
わかりやすい動脈硬化に関する研究のお話を

独立行政法人 東北区水産研究所

Liu Yun Guo 博士（中国）

新潟大学大学院医歯学総合研究科

Clyde Pancito DAPAT 博士（フィリピン）

演題 「Visualizing Drug Resistance in Influenza Virus（インフルエンザウイルスにおける薬剤耐性の視覚化）」



最初に講師の自己紹介とフィリピンの文化についての紹介。そして、インフルエンザウイルスについての解説、特に生活史（アニメーションによる）や感染経路、薬剤耐性について解説。さらに表面タンパク質ノイラミニダーゼとヘマグロチニンの構造とタミフルとの関係。さらにこの関係について、PC上のソフトウェアによって分子モデルによる視覚化を行い、解説が行われた。その後、質疑を行い、インフルエンザウイルスについての認識を深めた。

政策研究大学院大学

Tonni Agustiono KURNIAWAN 博士（インドネシア）

演題 「Landfill Leachate Treatment: State-of-the-Art（埋立地の汚染処理の最先端（環境科学））」

東京大学 宇宙線研究所（ICCR）

Aleksandr Markovic KHALAIDOVSKI 博士（ドイツ）

演題「Gravity wave」

重力波の検出に関する装置の研究に関するお話を通して、物理の基礎の重要性のお話をいただきました。

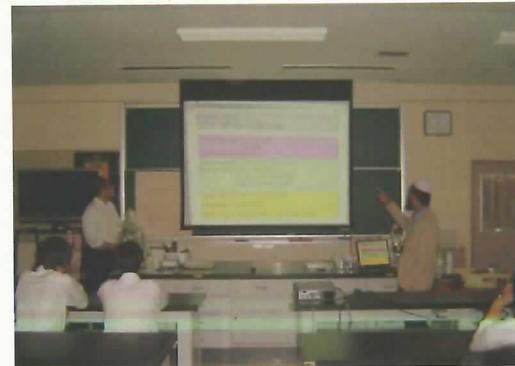
お話を内容：

食卓に上る、二枚貝の遺伝子のお話を。水産関係の研究機関の様子や中国のお話もありました。

新潟大学農学部

Md.asad-Ud DOULLAH 博士（バングラディッシュ）

演題「Introduction to Bangladesh and Bangladeshi culture and Genetic analysis of Resistance in Brassica crops
(バングラディッシュとその文化への入門とブロッサム野菜の遺伝子解析について)



前半では、バングラディッシュの文化、特に、地理や独立に至る経緯や、国旗の意味、政治、自然、料理、自分の家族などについて話された。後半では、キャベツ類の遺伝的分析について、染色体レベルから DNA レベルでの解析について、古典遺伝学との関連性を示しながら、基礎的な説明をした。御自身の研究についても説明された。